

社会福祉法人美楽会 令和8年度事業計画

【基本方針】

介護職員等の不足、諸物価の高騰、様々な感染症への対応など、施設経営を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあり、とりわけ、人材の確保は今後の課題となっています。

利用者の立場に立った「選ばれる施設づくり」、地域から信頼される「地域とともに歩む施設づくり」、自立的経営を目指す「経営の基盤づくり」を進め、経営の安定化に向けて、空床期間の短縮に取り組み、収入の源となる稼働率の継続的な確保に努めます。

当法人は、これからの地域の中で果たすべき役割を十分に理解したうえで、「先駆的な社会福祉法人」を目指し、次の6項目へ一丸となって取り組みます。

1. サービスの質の向上
 - ・ 自立支援体制の強化
 - ・ 認知症ケアの推進
 - ・ 医療との連携
2. 地域における公益的な取組の推進
 - ・ 地域におけるネットワークの活用
 - ・ 支援機関との連携を図る
 - ・ 包括的相談支援事業の取組
 - ・ 社会福祉法人会に1名配置し、啓発活動を実践
 - ・ 地域住民との交流を図る
3. 信頼と協力を得るための情報発信
 - ・ 法人本部体制の確立・強化
 - ・ 苦情・相談内容等の公表
 - ・ 財務計算書類、資金計画の公表
 - ・ 法人理念、基本方針等の周知
4. 人材の確保に向けた取り組み強化
 - ・ 福祉の仕事の魅力発信
 - ・ 人材確保のための取組
 - ・ 人材定着のための取組
5. 経営基盤の強化と組織統治(ガバナンス)の確立
 - ・ 収入の確保と経費節減
 - ・ 中期計画に基づく資金計画
 - ・ ガバナンスの強化
6. カスタマーハラスメント対策
 - ・ 指針の整備
 - ・ マニュアル作成
 - ・ カスハラ研修会

【理 念】

基本理念：「安心の人生と健康寿命への心ある支援」

職員信条：1. 人に優しく、いつも笑顔で接します。

2. 言葉づかいは、柔らかく、丁寧に行います。

3. 人生の先輩を敬い、その方らしさを大切にします。

4. ご家族、地域社会との連携を大切にします。

5. お互いの智恵を出し合い、共に歩み、喜びを分かち合います。

6. 自分に誇りを持って、資質の向上に努めます。

7. 地域の福祉と文化の向上に貢献します。

【役員・評議員の定数】

理 事 11 名（定数 11 名以上 15 名以内）

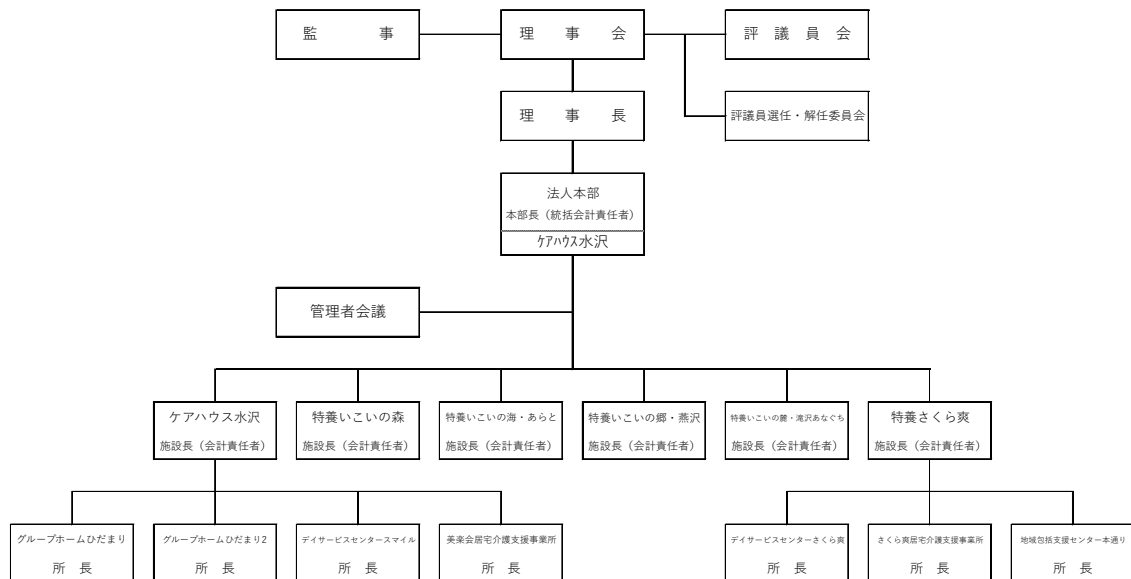
監 事 2 名（定数 2 名）

評 議 員 16 名（定数 12 名以上 16 名以内）

【組織運営体制】

社会福祉法人美楽会 組織図

2025/4/1



【事業所定員・職員数・稼働目標】

事業所名	定員	職員数	稼働目標
ケアハウス水沢	50 名	7 名	98%
グループホームひだまり	9 名	8 名	98%
グループホームひだまり 2	9 名	8 名	98%
デイサービスセンタースマイル	15 名	8 名	80%
美楽会居宅介護支援事業所	—	4 名	—
特別養護老人ホームいこいの森	100 名	72 名	91%
特別養護老人ホームいこいの海・あらと	80 名	66 名	94%
特別養護老人ホームいこいの郷・燕沢	100 名	67 名	93%
特別養護老人ホームいこいの麓・滝沢あなぐち	80 名(70 名)	52 名	90%
特別養護老人ホームさくら爽	180 名	137 名	93%
デイサービスセンターさくら爽	35 名	24 名	79%
さくら爽居宅介護支援事業所	—	8 名	—
地域包括支援センター本通り	—	6 名	—
法人本部	—	4 名	—

職員数合計 470 名

【事業所別活動方針等】

《 法 人 本 部 》

1. 活動方針

施設整備、設備更新、備品購入などの計画作成と、安定的な法人運営実現のための資金運用計画作成及び必要資金の確保を目的とした計画の実現。理事会、評議委員会の開催と事務局業務の遂行。多様化する働き方に対応しながら、職員が魅力とやりがい希望を感じられる職場づくりに向けて、体制整備を進める。

2. 法人運営に関する会議等の予定

- ・理 事 会 6 月、3 月 その他必要に応じ随時開催
- ・評議員会 6 月 その他必要に応じ随時開催
- ・管理者会議 毎月 1 回
- ・業績報告会議 毎月 1 回
- ・出納監査 5 月、8 月、11 月、2 月
- ・施設長会議 3 ケ月 1 回

3. 各事業所担当課委員会活動の予定

- ・各委員会会議、(相談課、介護課、看護課、) 3 ケ月 1 回
- ・各委員会会議、(事務課、給食課、リハビリ課、施設ケアマネ) 4 ケ月 1 回

4. 研修行事等予定

- ・新入社員研修 4 月
- ・啓愛会美楽会合同研究発表会 7 月
- ・その他の研修行事等 新たに計画し実施

《 ケアハウス水沢 》

1. 活動方針

- ・関係機関と連携し適切なサービス利用に結び付けることで、入居者が安心安全で快適な生活を送ることができるよう支援する。
- ・入居者の希望に沿った余暇活動や行事を企画・運営することで、閉じこもりを防止し、入居者が生き甲斐をもち楽しく交流出来るよう支援する。
- ・あんしんサポート事業に参画し、生活困窮者に対し直接出向き状況把握と必要な現物給付を行うことで、自立へつなげることができるよう支援する。

2. 利用者見込（予算人数）

入居者数	48.8 人／日
------	----------

3. 行事計画

4 月	テイクアウト弁当、お花見ドライブ、よもぎ餅作り、一斉清掃	10 月	秋の防災訓練、ハロウィンお茶会、衣類ショッピング、輪投げ大会
5 月	皐月お茶会、自主防災	11 月	ミニスポーツ、外食、産直ツアー、干し柿づくり

6月	防災訓練（春）、あじさい喫茶、衣類ショッピング	12月	クリスマス忘年会、ハンドメイド喫茶
7月	結核検診、日帰り旅行、七夕お楽しみ会、外食、産直ツアー	1月	新春お茶会、餅つき、みずき飾り、自主防災
8月	夕涼み会	2月	節分お楽しみ会、ミニスポーツ
9月	敬老会、自主防災、芋煮会	3月	雛祭りお茶会、衣類ショッピング
・美山病院への送迎／月～金 ・ケアハウス車の運行（市内循環）／火曜日、第1.3.5木曜日 ・買い物（コープアテルイ）／第2.4木曜日 ・郵便局便／月1回 ・介護予防体操／月7回 ・健康チェック（血圧等の測定）／月2回 ・誕生会／月1回 ・シネマデー／第3日曜日 ・ラジオ体操／毎朝 ・サークル活動（歌・脳トレ・折り紙・ぬり絵・おやつ）／適宜開催 ・入居者懇談会／奇数月			

《 グループホームひだまり・グループホームひだまり2 》

1. 活動方針

- ・その人らしさを尊重し、寄り添い、安らぎのある空間づくりに努める。
- ・余暇活動の充実を図り、認知症の進行予防・身体機能低下の予防に努める。
- ・災害時に備え、地域・近隣事業所との連携を図る。
- ・協力医療機関との連携を密にし、安心・安全な生活支援に努める。
- ・職員のスキルアップを図るため、研修への参加に努める。

2. 利用者見込（予算人数）

	利用者数	平均介護度
ひだまり	8.8人／日	2.5
ひだまり2	8.8人／日	2.5

3. 行事計画

4月	お花見、花壇・菜園作り	10月	地域交流秋祭り、芋煮会、防災訓練
5月	端午の節句、母の日、ドライブ、運営推進会議	11月	紅葉狩り、ミニ運動会、焼き芋、運営推進会議
6月	ミニ運動会、父の日、ドライブ、防災訓練	12月	クリスマス、忘年会
7月	七夕会、運営推進会議	1月	小正月行事、運営推進会議
8月	ミニ運動会、夕涼み会 防災訓練（水害）	2月	節分お茶会
9月	長寿を祝う会、運営推進会議	3月	ひな祭りお茶会、運営推進会議

*誕生会：適宜開催 *慰問：随時受入 *感染状況により、行事の追加・中止を随時検討する。

《 デイサービスセンタースマイル 》

1. 活動方針

- ・利用者に関わる時間を多く持ち、気持ちのこもったサービスを提供する。

- ・関係機関との連絡や連携をこまめに取り、信頼され選ばれる事業所を目指す。
- ・身体・精神機能維持・向上のためのレクリエーションや趣味活動の充実を図る。
- ・施設内外の研修の充実を図り、職員の資質の向上及びサービスの質の向上を図る。
- ・安定した運営のために利用者の確保に努める。

2. 利用者見込（予算人数）

	利用者数	平均介護度
通所介護	10 人／日	1.5
介護予防	2 人／日	

3. 行事計画

4 月	お花見ドライブ	10 月	秋の運動会 防災訓練
5 月	水害訓練 おやつ作り	11 月	紅葉ドライブ
6 月	春の運動会 防災訓練	12 月	クリスマス会
7 月	七夕喫茶 運営推進会議	1 月	新年会 運営推進会議
8 月	夏祭り	2 月	節分 おやつ作り
9 月	敬老会	3 月	ひな祭り

※誕生会適宜開催する。

4. 研修計画

4 月	法令遵守	10 月	認知症
5 月	個人情報保護	11 月	事故防止
6 月	業務継続計画（災害 BCP）	12 月	感染症対策②（感染症 BCP）
7 月	感染症対策①（食中毒等）	1 月	身体拘束廃止
8 月	入浴	2 月	ハラスメント
9 月	高齢者の権利擁護・虐待防止	3 月	

《 美楽会居宅介護支援事業所 》

1. 活動方針

- ・利用者及び家族に寄り添い在宅生活に必要な介護サービス等を協議し、関連事業所と連絡調整しながら支援を行う。
- ・医療・福祉等関連機関及びサービス事業者との連携を強化し、より良い在宅生活を送れるように支援する。

2. 利用者見込（予算人数）

	利用者数（ケアプラン数）
介護支援	90 件／月
予防支援	25 件／月

3. 予定事業内容等

- ・利用者に対する介護相談援助
- ・居宅ケアプラン作成
- ・予防プラン、総合事業計画作成（受託事業）
- ・要介護認定調査（受託事業）
- ・各種介護保険関係の代行申請等
- ・医療・福祉等、他関係機関との連携を図り在宅サービス利用への援助

《 特別養護老人ホームいこいの森 》

1. 活動方針

- ・入居者様の人権を尊重し、常にその立場に立ち安心して暮らせるサービスの提供を行う。
- ・ご家族様との連携を密にし、信頼されるケアを実施する。
- ・職員は技術の向上に心がけ、自己研鑽に励みより良いサービスが提供できるように努める。
- ・健全な運営ができるように長期・短期とも利用者様の確保及び加算の取得に努める。

2. 利用者見込（予算人数）

	利用者数	平均介護度
長期	77.5 人／日	3.9
短期	13.5 人／日	2.5

3. 行事計画

＜施設行事＞ 8月：夏祭り 9月：敬老会 11月：ミニ運動会 1月：新年会 ・居酒屋 ・季節喫茶 ・イベント浴 （ゆず湯等） ・慰問（適宜） ・防災訓練 （年2回）※BCP研修・訓練を含む ・趣味活動 （ドライブ（花見、新緑、紅葉他）、みづき飾り、バレンタイン行事、七夕飾りづくり、干し柿づく	＜ユニット行事＞ ・誕生会 ・外出 ・昼食、おやつ作り ・おやつバイキング ・映画鑑賞 ・ガーデニング ・施設周辺の散策 ・各種季節行事の提供 （お花見、端午の節句、お茶会、スイカ割り、うちわ作り、カレンダーづくり、芋煮会、ハロウィン、クリスマスなど） ・百寿のお祝い
---	--

り、クリスマス行事、など)	
---------------	--

《 特別養護老人ホームいこいの海・あらと 》

1. 活動方針

- ・介護ロボットの有効活用により、生産性の向上及び職員の負担軽減、超過勤務の短縮を図り、入居者が、その人らしく過ごすことができるよう、サービスの質の向上を目指す。
- ・新規入居者の確保、入居後の健康管理に努め、稼働率の維持向上を目指す。
- ・加算要件の見直しや、中堅職員の略痰吸引、認知症、ユニットリーダー研修参加を計画的に行い、職員のスキルアップ、モチベーションの向上、サービスの質の向上を目指す。
- ・地域貢献、地域参加の機会を設け、地域での認知度の向上、地域に根ざした開かれた施設を目指す。

2. 利用者見込（予算人数）

定員数	利用者数	平均介護度
広域型（定員 60）	56.0 人／日	4.0
地域密着（定員 20）	19.0 人／日	3.8

3. 行事計画

<施設行事> 4 月：研究発表会、春の交通安全街頭指導 5 月：避難訓練 6 月：お花見ドライブ 7 月：幼稚園交流会 8 月：荒砥灯籠流し参加 9 月：あらと祭、敬老会 10 月：避難訓練、交通安全街頭活動 11 月：紅葉ドライブ 12 月：幼稚園クリスマス交流会 お正月飾り作り 1 月：新年会 2 月：節分 3 月：ひな祭り 定期：茶話会 ドライブ散策 昼食ドライブ 施設内研修	<行事、各種活動、家族交流の実施> ・四季折々の施設、ユニット行事 ・利用者向け各種クラブ活動などイベント企画 ・他法人、福祉団体、ボランティア団体との連携 ・家族ニーズ調査や広報誌の発行 ・職員に係る健康管理及びメンタルケアの実施 ・定期的な施設内外の環境美化整備の充実 ・緊急時に備えた訓練や講習会の実施 ・地域行事への参加 ・地域活動団体への活動場所提供 ・教育機関との連携や外部講師を招いた研修会 ・地域住民による日常生活ボランティアの充実 ・地域住民を交えた防災意識の確立と連携
--	--

《 特別養護老人ホームいこいの郷・燕沢 》

1. 活動方針

「その人らしく元気で笑顔でいられるように」

- ・安心、安全、快適そして心のこもった介護を適切に提供する。(24 時間シートの活用)
- ・地域の福祉活動に貢献する。(地域包括支援センターとの連携、町内会活動への参加)
- ・地域防災計画と連担した安心安全な施設づくりを推進する。(地域防災訓練参加、福祉避難所)
- ・介護人材の育成。(施設内研修の充実、高い専門スキルをもった職員とリーダーの育成)
- ・働きがいのある職場づくり。(時間外勤務を削減し、私生活を充実)
- ・経営基盤の安定。(地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等との連携強化・情報発信)

2. 利用者見込（予算人数）

	利用者数	平均介護度
長期（定員 80）	78.0 人／日	3.8
短期（定員 20）	15.0 人／日	2.3

3. 行事計画

4 月	花見	10 月	避難訓練（夜間） 芋煮会
5 月	いこいのドライブ	11 月	
6 月	避難訓練（総合）	12 月	いこいの郷・クリスマス会
7 月	七夕飾り作り	1 月	いこいの郷・新年会
8 月	いこいの郷・夏祭り	2 月	研究発表会
9 月	敬老会	3 月	自然災害対応訓練（BCP 訓練）
・ユニット行事については各ユニットにて行事計画あり ・施設内研修は月 1 回定例開催 ・クラブ活動 月 1 回			

【上記計画概要】

行 事 (アクティビティ)	・施設全体規模の行事⇒心に伝わるイベント ・各ユニット毎の活動活性化⇒ユニットの特色を生かした行事を
各種活動 取り組み	・24 時間シートの活用と定着 ・人材育成・研修プログラムの作成（人材育成・研修委員会、外部研修の活用） ・入居者様の趣向・趣味・経歴に合わせたクラブ活動の実施 ・ストレスチェック実施 2 月
地域・家族との ふれ合い及び連携	・地域包括支援センターとの連携協力（“チームつばめ” への参加） ・地域防災訓練計画と連担した安心安全な施設作りを推進する（防災センター） ・地域ボランティアの積極的受入（町内会クラブ活動への協力） ・IT 機器を利用した入居者様とご家族様を繋ぐ連絡手段の導入

《 特別養護老人ホームいこいの麓・滝沢あなぐち 》

1. 活動方針

- ・R8年8月を目途に7ユニット対応となるよう、段階的に入居者・職員の確保を図り、年度末の平均稼働率90%達成に努める。(63名/70床)
- 6ユニットでの対応の期間は平均稼働率94%の維持に努める。(56.5名/60床)
- ・喀痰吸引資格取得4名程度を目指し、対象者の受入れが可能になるように取組み入居者確保に努める。
- ・ケアプランと24時間シートに基づいた個別ケアを提供し、入居者個々のその人らしい暮らしの実現を目指す。
- ・施設行事やユニット行事のほか、多様な趣味活動等を通じて、楽しく生きがいのある生活の創造に努める。
- ・安心・安全な生活環境を整備するとともに、防災計画に基づき、地域住民と連携し総合的な防災対策に努める。
- ・研修の充実による職員のスキルアップや各種委員会活動の充実を図り、多職種連携によるサービスの質の向上を目指す。
- ・地域自治会等の団体との関係づくりに努め、感染症拡大予防を意識しながらも地域住民との相互交流の在り方を検討し実践する。
- ・新型コロナウイルス感染症を含む感染症対策に継続的に取り組む。

2. 利用者見込（予算人数）

	利用者数	平均介護度
長期（定員80）60床	58.1人／日	4.00

3. 行事計画

<施設行事> 4月：お花見ドライブ 5月：端午の節句 6月：避難訓練 7月：夏祭り（バイキング） 8月：納涼祭 収穫祭 9月：敬老会 10月：紅葉ドライブ・避難訓練（防災訓練） 11月：大運動会・秋祭り 12月：クリスマス会・忘年会 1月：餅つき会・新年交賀会 2月：節分行事 3月：ひな祭り会 定期：・誕生会、昼食バイキング、喫茶店オープン	<行事、各種活動、地域交流の実施> ・四季折々の施設行事、ユニット行事の実施 ・入居者向け各種クラブ活動・趣味活動の実施 ・家族向け広報誌等の作成 ・外部講師による研修会など施設内研修の充実 ・職員の健康管理及びメンタルケアの実施 ・施設内外、ユニットの環境美化の実施 ・地域住民との相互交流の在り方の検討 ・ボランティア活動の受入れ
---	---

《 特別養護老人ホームさくら爽 》

1.活動方針

- ・利用者様の尊厳を守り、質の高いサービスを提供する。
- ・行事・面会・外出等を通じて、利用者様と家族・地域を繋ぐ暮らしを提供する。
- ・地域の医療機関・介護事業所との連携により、入居希望に速やかに応え、稼働率向上を目指す。
- ・IT や AI を活用した生産性向上によって業務効率化を図り離職率低下を目指す。

2.利用者見込（予算人数）

利用種別	利用者数	平均介護度
長期（定員 170）	158.1 人／日	4.2
短期（定員 10）	9.4 人／日	2.8

3.行事計画

<施設行事> 4 月：お花見ドライブ、BCP（災害）訓練 5 月：ユニット・フロア行事 6 月：避難訓練 9 月：敬老会 10 月：秋祭り 11 月：避難訓練、BCP（感染）訓練 12 月：クリスマス会、忘年会、ゆず湯 1 月：新年会 2 月：節分行事 3 月：ひな祭り	<行事、各種活動、地域交流の実施> ・四季折々の施設行事、ユニット行事の実施 ・入居者向け趣味活動の実施 ・家族・地域住民向け広報誌の発行 ・施設内外、ユニットの環境美化の実施 ・地域住民によるボランティア・慰問の受け入れ ・北上市福祉避難所の設置 ・外部講師による研修会など施設内研修の充実 ・職員の健康管理及びメンタルケアの実施
--	--

《 デイサービスセンターさくら爽 》

1.活動方針

- ・市街地にあり、様々な介護サービスを有する法人の優位性を活かした運営を常に心がけ、選ばれる事業所を目指す。
- ・北上市日常支援総合事業に取り組み、福祉ニーズに対応する。

2.利用者見込（予算人数）

利用種別	利用者数	平均介護度
通所介護	23.4 人／日	1.9
介護予防	4.1 人／日	—

3.予定事業内容

機能訓練	利用者が居宅や住み慣れた地域で可能な限り自立した暮らしができるよう、訓練機器を配置し、リハビリ専門職が一人ひとりの身体機能に応じた訓練を行います。
入浴	利用者の希望、身体機能の状況に応じて、個浴、特殊浴を完備し安心・安全な入浴に努めます。
行事	利用者が喜ぶもの、感動するものを企画し、楽しんでもらえるイベントを提供しま

	す。
生活相談	より長く在宅での生活が維持できるように、利用者の心身の状態を踏まえた通所介護サービス計画の作成を行います。
介護予防・生活支援 総合事業	訪問型短期集中予防サービスを実施します。 通所型短期集中予防サービスを実施します。

《 さくら爽居宅介護支援事業所 》

1.活動方針

- ・利用者の権利を守り利用者の立場に立って代弁する役割であることを忘れず、常に公平中立なサービス提供に心がけるとともに、相談援助技術の向上に努める。
- ・法人内の居宅系サービスとの連携をはかり、よりよいサービスの提供に努める。

2.利用者見込（予算人数）

利用種別	利用者数（ケアプラン数）
介護支援	136.7 件／月
予防支援	136.7 件／月

3.予定事業内容

- ・利用者、家族とのアセスメントとモニタリングを通して、介護状態に応じたサービスを提供します。
- ・作成した計画が利用者の実態に合ったものであるか、定期訪問を行い検証します。
- ・行政、関係機関等との連携を密に行い、困難ケースに取り組みます。
- ・職員の資質向上を図り、適切なサービスの提供を行います。
- ・介護予防支援事業所としての稼働を開始します。

《 地域包括支援センター本通り 》

1.活動方針

- ・各機関とのネットワーク構築と情報共有を行い、地域課題への対応や、高齢者とその家族が抱える問題解決に受けて地域共生社会づくりの視点も入れ迅速に関わる。
- ・地域の高齢者とその家族が安心して生活が出来るように、情報発信と制度の啓発活動を行う。

2.利用者見込（予算人数）

利用種別	利用者数（ケアプラン数）
予防支援	30 件／月

3.予定事業内容

総合相談支援業務	・地域の身近な相談拠点として、関係機関と連携し様々な相談について迅速に対応します。 ・個別相談・ふれあいデイサービス・きたかみいきいき百歳体操等の地域活動を通して、地域の問題やニーズを発見していきます。
権利擁護業務	・困難事例、虐待事例の対応について、行政、民生委員、近隣住民、介護支援専門員、医療機関等の関係機関と連携していきます。

	・認知症のケースは、適切な介護サービスの利用や他機関との連携で、日常生活支援・生活困窮者自立支援事業・成年後見制度の活用に努めていきます。
包括的・継続的ケアマネジメント業務	・高齢者が生活に様々な困難を抱えても住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように、生活課題の早期発見・早期対応の体制を構築し、支援を行います。 ・充実したケア体制を作るため、介護支援専門員の後方支援を行います。
介護予防ケアマネジメント業務	・要支援1・2、事業対象者に対し、心身の状況、環境、その他の状況に応じ、本人の選択に基づいた介護予防サービス・支援計画の作成を行います。
認知症施策の推進	・認知症地域支援推進員を中心に、北上市の認知症施策に沿って認知症になっても住み慣れた地域で生活できるような地域づくりを行います。
生活支援体制の整備	・今ある地域資源と、支援を必要とする高齢者とのマッチングや新たな地域資源の発見に努めます。
地域ケア会議の充実	・困難事例、地域課題を検討する場として「地域ケア会議」「地域ケア個別会議」を開催します。